

第4回 SPARC Japan セミナー2018

人文社会系分野における

オープンサイエンス

～ その課題解決に向けて ～

近年は、人文社会系分野のジャーナルやデータなどのオープン化、基盤整備を促進する動きが進んでいます。日本学術振興会においては、2018年から「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築プログラム」が実施されています。また、ここ数年でデータサイエンスやオープンデータのための共同利用センターが設立され、人文社会系分野のデータ整備については一層の基盤強化が期待されているところといえます。

その一方で、個別にはいくつかの課題も存在しています。2013年の本セミナーで指摘のあった、人文社会系分野における「学問固有、研究者固有のニーズに応じた」オープン化の手法は未だ明確に見えていない状況です。また、この分野ではモノグラフが重要であり、そのオープン化はジャーナルほど進んでいるとは言えません。さらに研究成果の多くは、大手出版社の学術雑誌ではなく、紀要や個別の学会誌で発信されています。J-STAGEや機関リポジトリでの公開が増えているものの、学会等の役割やオープン化の担い方を問い直される状況にあります。

このような現状を踏まえ、人文社会系分野におけるオープンサイエンスの定着に向けては、あらためてこの分野の置かれている状況を確認し、課題を共有する必要があります。本セミナーでは、個別の状況把握と具体的な解説を交えながら、議論を行っていきます。

2019年1月29日(火)

13:30 - 17:00

国立情報学研究所
19階会議室

登壇者

前田 幸男

日本学術振興会 / 東京大学大学院情報学環

天野 絵里子

京都大学 学術研究支援室

設楽 成実

京都大学 東南アジア地域研究研究所

鈴木 親彦

国立情報学研究所
/ 人文学オープンデータ共同利用センター

中原 由美子

筑波大学 学術情報部

題字画像：東京大学総合図書館所蔵『万暦版大藏経』



主催

SPARC*Japan

NII 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所
National Institute of Informatics

プログラム (予定)

13:30-13:35	開会挨拶 / 概要説明 鈴木 親彦 国立情報学研究所 / データサイエンス共同利用基盤施設 人文学オープンデータ共同利用センター 特任研究員
13:35-14:15	人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業の取組について 前田 幸男 日本学術振興会人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター研究員 (PO) / 東京大学大学院情報学環教授
14:15-14:20	(休憩)
14:20-15:00	日本の学術書をオープンアクセスにするために 天野 絵里子 京都大学 学術研究支援室 特定専門業務職員 (リサーチ・アドミニストレーター)
15:00-15:40	地域研究分野における学術雑誌のデジタル化とオープン化の現在 設楽 成実 京都大学 東南アジア地域研究研究所 社会共生研究部門 助教
15:40-16:00	(休憩)
16:00-16:55	パネルディスカッション パネリスト：前田 幸男, 天野 絵里子, 設楽 成実, 中原 由美子 モデレータ：鈴木 親彦
16:55-17:00	閉会挨拶 江川 和子 国立情報学研究所 学術基盤推進部 次長 / SPARC Japan運営委員会 委員

参加費

無料

参加申込

下記URLよりお申し込みください。(定員60名)
<https://www.nii.ac.jp/sparc/event/>

申込締切

2019年1月25日(金)
※定員に達し次第締め切らせていただきます。

その他

当日はWeb上での動画中継を予定しております。
詳細はWebサイト(上記URL)をご参照ください。

お問い合わせ先

国立情報学研究所 SPARC担当
E-mail: co_sparc_all@nii.ac.jp
FAX: 03-4212-2375

